

# 目標達成のための取組状況のとりまとめについて 【手取川】

# ○【手取川】概ね5年で実施する取組

具体的な取組の柱 事項	課題の 対応	目標時期	実施する機関								地域住民
			北陸地整	石川県	金沢地方 気象台	白山市	能美市	小松市	川北町	野々市市	
1. ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
・河道掘削 ・侵食・洗掘対策 ・浸透対策 ・河道管理 ・霞堤の維持・保全	U,V	引き続き実施	○								
・手取川ダム、大日川ダムの適切な施設管理		順次整備	○	○							
■危機管理型ハード対策											
・天端保護	W	H28年度から順次整備	○								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	M,P,Q	H28年度から検討	○	○		○	○	○	○	○	
②円滑な避難活動や水防活動等に資する監視カメラや簡易水位計、侵食センサー等の整備	L,J	H28年度から順次整備	○	○			○				
2. ソフト対策の主な取組 ①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する取組											
①氾濫特性を踏まえたリアルタイムの浸水情報提供	G,H,I,J	順次整備	○	○	○	○	○	○	○	○	活用
②避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の検討・検証等	C	順次実施	○	○	○	○	○	○	○	○	
③想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)	D,E,F	H28年度から実施	○								活用
④関係機関と住民が協働しながら、外水・内水氾濫に対応した避難計画の検討	D,E,F,K	H28年度から順次実施	○				○	○	○	○	
⑤関係機関が連携した広域避難計画の検討	D,E	順次実施	○	○	○	○	○	○	○	○	
⑥想定される最大規模の降雨による浸水や家屋倒壊に対応する「立ち退き避難区域」等を検討し、ハザードマップに反映	D,E,F	H28年度から順次実施	○				○	○	○	○	活用
⑦水位予測の検討及び精度の向上	B,M	H28年度から検討	○	○							
⑧気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	J	H29年度			○						活用

## ○【手取川】概ね5年で実施する取組

具体的な取組の柱 事項	課題の 対応	目標時期	実施する機関								地域住民
			北陸地整	石川県	金沢地方 気象台	白山市	能美市	小松市	川北町	野々市市	
2. ソフト対策の主な取組 ①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組											
■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組											
①自治会や地域住民が参加した洪水に対する水害リスクの高い箇所の高点検の実施	A	順次毎年実施	○	○		○	○	○	○	○	参加
②昭和9年洪水を伝承し、水防工法を学ぶ親子防災教室の実施	A	引き続き実施	○	○	○	○	○	○	○	○	参加
③住民意識の変革に資する防災講演会・講座等を実施	A	引き続き実施	○	○	○	○	○	○	○	○	参加
④住民意識の喚起に資する「まるごとまちごとハザードマップ(モデル地域)」の設置	D,F I	順次実施	○	○		○		○			活用
⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H	順次実施	○	○	○	○	○	○	○	○	活用
⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	K	順次実施				○	○	○	○	○	参加
2. ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組											
■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組											
①外水・内水氾濫に対応した水防団等への迅速な水防活動の連絡体制の確保や実働訓練の実施	N	引き続き毎年実施	○	○	○	○	○	○	○	○	参加
②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施	L,M N	引き続き毎年実施	○	○	○	○	○	○	○	○	
③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	P,Q	引き続き毎年実施	○	○	○	○	○	○	○	○	参加
④水防活動の担い手となる水防団、水防協力団体の募集・指定を促進 または地域事業者による水防支援体制の構築	O,Q	引き続き実施				○	○	○	○	○	参加
⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	P	引き続き実施	○	○		○	○	○	○	○	
⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	R	H28年度から検討	○								
■ 要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組											
①要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施	K	引き続き実施	○	○		○	○	○	○	○	参加
②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	I	H28年度から実施	○	○		○	○	○	○	○	活用

## ○【手取川】概ね5年で実施する取組

具体的な取組の柱 事項	課題の 対応	目標時期	実施する機関								地域住民
			北陸地整	石川県	金沢地方 気象台	白山市	能美市	小松市	川北町	野々市市	
2. ソフト対策の主な取組 ③社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化											
■救援・救助活動の効率化に関する取組											
①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	E,S	H28年度から検討	○	○		○	○	○	○	○	
■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施											
①大規模水害を想定した手取川排水計画(案)の検討を実施	S,T	H28年度から検討	○	○		○		○			
②排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	T	引き続き毎年実施	○	○		○		○			
③関係機関が連携した排水実働訓練の実施	T	順次実施	○	○		○		○			



【手取川】大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組(案) 2/4

減災のための取組項目(素案) (概ね5年間)		北陸地整		石川県		金沢地方気象台		白山市		能美市		小松市		川北町		野々市市		
2. ソフト対策の主な取組 ①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組																		
■情報伝達、避難計画等に関する取組																		
④関係機関と住民が協働しながら、外水・内水氾濫に対応した避難計画の検討	D,E F,K	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供を行う。	H29年度から実施						・浸水想定区域等の公表後に立ち退き避難が必要な区域及び避難方法を検討する。	平成29年度から検討	・浸水想定区域等の公表後に立ち退き避難が必要な区域及び避難方法を検討する。	平成29年度から検討	・浸水想定区域等の公表後に立ち退き避難が必要な区域及び避難方法を検討する。	平成29年度から検討	・浸水想定区域等の公表後に立ち退き避難が必要な区域及び避難方法を検討する。	平成29年度から検討	・浸水想定区域等の公表後に立ち退き避難が必要な区域及び避難方法を検討する。	平成29年度から検討
		・【H29.4.17】浸水想定区域図を公表・関係機関に対し、情報提供を行う。	引き続き実施									・浸水想定区域図等の公表後、避難計画の作成を検討する。	平成29年度から検討	・浸水想定区域図を参考に順次実施	平成29年度から順次実施			
	⑤関係機関が連携した広域避難計画の検討	D,E	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	H28年度から順次実施	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	順次実施	・市町の避難判断マニュアルの改訂支援を主軸に避難計画策定を支援	引き続き実施	・浸水想定区域図等の公表後に広域避難の実現性について検討する	平成29年度から検討	・浸水想定区域図等の公表後に広域避難の実現性について検討する	平成29年度から検討	・浸水想定区域図等の公表後に広域避難の必要性や現実性について検討する。	平成29年度から検討	・浸水想定区域図等の公表後に関係団体と検討する。	平成29年度から検討	・浸水想定区域図等の公表後に広域避難の実現性について検討する	平成29年度から検討
			・【H29.4.17】浸水想定区域図を公表・関係機関に対し、情報提供を行う。	引き続き実施	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	順次実施	・野々市市からの依頼により、市町の避難判断マニュアル、地域防災計画の修正案を提示した。	H29.1他市町も依頼により順次実施予定					・浸水想定区域図等の公表後に広域避難の必要性や現実性について検討する。	平成29年度から検討	・浸水想定区域図を参考に順次実施	平成29年度から順次実施		
⑥想定される最大規模の降雨による浸水や家屋倒壊に対応する「立ち退き避難区域」等を検討し、ハザードマップに反映	D,E F	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H28年度から実施					・ハザードマップの更新及び防災マップの改訂(防災マップは全戸配布予定)	平成29年度から検討	ホームページ内に各種ハザードマップの掲載	平成29年度から検討	・ハザードマップの見直しを行い、全世界に配布し周知する。	平成29年度から検討	・ハザードマップの見直しを行い、全戸配布により周知する	平成29年度から検討	ホームページ内に各種ハザードマップの掲載	平成29年度から検討	
		・【H28.5.9】水防連絡会においてハザードマップポータルサイトを周知	引き続き実施									・ハザードマップの見直しの際、検討予定	平成29年度から検討	・浸水想定区域図等の公表後に立ち退き避難区域等を検討する。	平成29年度から検討	・浸水想定区域図を参考に順次実施	平成29年度から順次実施	
⑦水位予測の検討及び精度の向上	B,M	・現状予測期間(～3時間) ・更に数時間(4～6時間程度)先も含め水位予測の精度向上の検討・システム改良を行う	H28年度から検討	・洪水予測に必要な情報提供を行う	H28年度から実施													
		・検討業務を実施中【H29.3現在】	引き続き実施	・洪水予測に必要な情報提供を行う	H28年度から実施													
⑧気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	J					・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化(大雨・洪水注警報を補足するメッシュ情報)	引き続き、試行を実施、 H29年度出水期を目処に本運用予定	現在、試行中。H29年度より本運用予定。 H29年度出水期を目処に本運用予定										
						・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供(5/17運用開始) ・メッシュ情報の充実化(大雨・洪水注警報を補足するメッシュ情報)	引き続き、試行を実施、 H29年度出水期を目処に本運用予定											
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																		
①自治会や地域住民が参加した洪水に対する水害リスクの高い箇所の共同点検の実施	A	・重要水防箇所等の共同点検を実施	順次毎年実施	・重要水防箇所等の共同点検を実施	順次実施			・河川管理者と地域住民等で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と地域住民等で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と地域住民等で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と地域住民等で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と地域住民等で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	
		・【H28.6.10】重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き実施	・重要水防箇所等の共同点検を実施	順次実施			・【H28.11.1】重要水防箇所区域パトロールに参加	順次毎年実施	・【H28.6.10】手取川・梯川重要水防区域パトロールに参加	順次毎年実施	同上	同上	金沢河川国道事務所及び教育関係者と合同で共同点検を実施した。	GW前、夏休み前			
②昭和9年洪水を伝承し、水防工法を学ぶ親子防災教室の実施	A	・市町の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。	引き続き実施	・市町の要請があった場合は、出前講座等を行う。	順次実施	・普及啓発教材の提供により学校での普及啓発を支援。	引き続き実施	・市内の学校から要請により出前講座等を行う。	随時	各小中学校及び高校から要請があった場合、出前講座を行う。	随時	・小中学校での水害教育を実施。	引き続き実施	小学校での水防教室を実施している。	引き続き実施	・市内の学校から要請により出前講座等を行う。	随時	
		・【H28.8.3】手取川アウトドア教室を開催	引き続き実施	・市町の要請があった場合は、出前講座等を行う。	順次実施	・配布資料を作成し、内容検討中	引き続き実施	・【H28.7.23】防災教室を実施	随時	・【H28.8.3】小学生を対象とした手取川アウトドア教室に参加。	随時	同上	同上	小学生を対象に水防教室を実施した。	H28.6			
③住民意識の改革に資する防災講演会・講座等を実施	A	・市町の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。	引き続き実施	・市町の要請があった場合は、出前講座等を行う。	順次実施	・地域防災リーダーや市町職員研修などへの出前講座の実施。	引き続き実施	まちかど市民講座の開催 防災意識の啓発のため、町会、各種団体等を対象に市民講座を開催する。	平成25年度3会場 平成26年度3会場 平成27年度7会場	町会、各種団体から要請があった場合、出前講座を行う。	随時	・自主防災訓練や防災研修会、出前講座等を活用し、水防等に関する説明を実施する。	引き続き実施	町会、各種団体から要請があった場合、出前講座を行う。	随時	・町会、各種団体から要請があった場合、出前講座を行う。 ・避難情報の名称変更を市民へ周知する。	随時	
		・【H28.9.25】防災講演会を実施	引き続き実施	・市町の要請があった場合は、出前講座等を行う。	順次実施	・白山市職員研修会(4/28)、県危機管理研修(8/28)など流域市町、県への出前講座を5回実施。	引き続き実施	・H28年度にまちかど市民講座を9会場実施【H29.3現在】	随時	・各種団体、学校や町会・町内会から出前講座の要請を受けて実施 H28年度 16町会・町内会から依頼	随時	・消防本部や小松防災士の会と連携し、住民に対する防災研修会を実施する。	引き続き実施	同上	随時	・【H29.3.1】広報誌及びホームページにて、避難情報の名称変更を広報		
④住民意識の喚起に資する「まるごとまちごとハザードマップ(モデル地域)」の設置	D,F I	・市町が作成するまるごとまちごとハザードマップへの情報提供	順次実施	・市町が整備するまるごとまちごとハザードマップへの情報提供	順次実施			・浸水想定区域図等の公表後、ハザードマップの見直しの際に検討する。	H29年度以降実施			・浸水想定区域図等の公表後、ハザードマップの見直しの際に検討する。	H29年度から実施					
		・【H29.4.17】浸水想定区域図を公表・関係機関に対し、情報提供を行う。	順次実施	・市町が整備するまるごとまちごとハザードマップへの情報提供	順次実施								・平成29年度から洪水モデル地区を選定し、まるごとまちごとハザードマップの作成について検討する。	H29年度から実施				
⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	・水害防止啓発用チラシを作成している。県民へ広く周知していく。	引き続き実施	金沢河川国道事務所と連携し「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	北陸地整や石川県からの情報提供後に検討	北陸地整や石川県からの情報提供後に検討	北陸地整や石川県からの情報提供後に検討	北陸地整や石川県からの情報提供後に検討	H29年度から実施	金沢河川国道事務所と連携し「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	北陸地整や石川県からの情報提供後に検討	金沢河川国道事務所と連携し「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	北陸地整や石川県からの情報提供後に検討	
		・【H28.8.3】手取川アウトドア教室を開催 ・【H28.9.25】防災講演会を実施	引き続き実施	・必要に応じて、関係機関と連携し作業を支援する。	随時実施	・新聞や県のテレビ広報番組を活用した、平時からの水防情報の周知・普及 ・水防団員を対象とした水防情報の利活用に関する勉強会の実施 ・イオン等の小売店やコンビニエンスストアへの啓発リーフレットの配布(置きチラシ)	引き続き実施					必要に応じて、関係機関と連携し作業を実施	北陸地整や石川県からの情報提供後に検討	・浸水想定区域図等の公表後、広報や資料作成・配布について検討する。	H29年度から実施	浸水想定区域図を参考に、広報や資料作成・配布について検討する。	平成29年度から検討。	



【手取川】大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組(案) 4/4

減災のための取組項目(素案) (概ね5年間)		北陸地整	石川県	金沢地方気象台	白山市	能美市	小松市	川北町	野々市市						
2. ソフト対策の主な取組 ③社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化															
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組															
①要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施	K	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言を行う	引き続き実施	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言を行う	順次実施	・福祉避難所開設に係る施設との協定締結(長寿介護課) ・避難行動要支援者名簿の作成・協定の締結(生活支援課) ・浸水想定区域図等の公表後に要配慮者利用施設における計画策定の推進を行う。	引き続き実施 H29年度から実施	・要配慮者施設における早い段階での災害情報の提供(防災行政無線) ・浸水想定区域図等の公表後に要配慮者利用施設における計画策定の推進を行う。	引き続き実施 H29年度から実施	・要配慮者施設における早い段階での災害情報の提供。 ・浸水想定区域図等の公表後に要配慮者施設における避難計画策定や避難訓練の支援を行う。	H28年度から実施	・浸水想定区域図等の公表後に要配慮者利用施設における計画策定の推進を行う。	H29年度から実施	・浸水想定区域図等の公表後に要配慮者利用施設における計画策定の推進を行う。	H29年度から実施
		・検討中【H29.3現在】	引き続き実施	・【H29.4.21】洪水時等に適切な避難行動がとられるよう要配慮者利用施設の管理者に対して説明会を実施	実施済	・福祉避難所開設に係る施設との協定締結を推進【H29.3現在】 ・避難行動要支援者名簿の作成・協定の締結を推進【H29.3現在】 ・浸水想定区域図等の公表後に要配慮者利用施設における計画策定の推進を実施予定【H29.3現在】	引き続き実施 H29年度から実施	・浸水想定区域図等の公表後に要配慮者利用施設における計画策定の推進を行う。	引き続き実施 H29年度から実施	・入所福祉施設(老人・障がい)の実態把握を行い、関係各課と情報共有を図り、計画や訓練の支援に繋げていく。	引き続き実施	・浸水想定区域図を参考に、要配慮者利用施設における計画策定の推進を行う。	H29年度から順次実施	【H29.3】要配慮者施設への説明会を実施した。	
②大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策等の啓発活動	I	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言を行う	引き続き実施	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言を行う	順次実施	水害対策等の啓発活動を行う。	H29年度から実施	水害対策等の啓発活動を行う。	H29年度から実施	水害対策等の啓発活動を行う。	H29年度から実施	水害対策等の啓発活動を行う。	H29年度から実施	水害対策等の啓発活動を行う。	H29年度から実施
		・検討中【H29.3現在】	引き続き実施	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言を行う	順次実施			必要に応じて、関係機関と連携し作業を実施	H29年度から実施	同上	同上	同上	H29年度から順次実施		
■救援・救助活動の効率化に関する取組															
①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	E.S	・広域支援拠点等の検討支援	H28年度から検討	・広域支援拠点等の検討に対する助言を行う	順次実施	①土のう備蓄ボランティアへの協力 ・一般社団法人 白山・石川建設業協会主催 ・資材(土のう袋、ブルーシート、パレット)の準備 ②土のうの配備 ③各種資機材の整備 ④各種備蓄品の整備(アレルギー対策食品への更新を含む) ⑤浸水想定区域図等の公表後に広域支援拠点等の配置等を検討	①年1回(6月上旬) ②鶴来地域配備済、松任地域は今後予定 ③随時更新 ④随時更新	・5箇年計画による各種備蓄品の整備 ・浸水想定区域図等の公表後に広域支援拠点等の配置等を検討	平成25年度から5箇年計画 H29年度から検討	・浸水想定区域図等の公表後に広域支援拠点等の配置等を検討。	H29年度から検討	指定避難場所への毛布の配置 ・公共施設への太陽光発電設備の設置 ・非常持ち出し袋の全戸配布 ・浸水想定区域図等の公表後に広域支援拠点等の配置等を検討	H29年度から検討	・浸水想定区域図等の公表後に広域支援拠点等の配置等を検討	H29年度から検討
		・検討中【H29.3現在】	引き続き検討	・広域支援拠点等の検討に対する助言を行う	順次実施	①【H28.6.3】土のう備蓄ボランティアへの協力を実施 ②土のう配備を推進【H29.3現在】 ③各種資機材の配備を推進【H29.3現在】 ④各種備蓄品の整備を推進【H29.3現在】 ⑤浸水想定区域図等の公表後に広域支援拠点等の配置等を検討予定【H29.3現在】	①年1回(6月上旬) ②鶴来地域配備済、松任地域は今後予定 ③随時更新 ④随時更新	毎年、計画している各種備蓄品を整備し、備蓄倉庫内に配置。 ・浸水想定区域図等の公表後に広域支援拠点等の配置等を検討	平成25年度から5箇年計画 H29年度から検討	・備蓄物資及び水防避難所の最適な配置計画を検討する。	H29年度から検討	同上		H29年度から順次実施	
■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施															
①大規模水害を想定した手取川排水計画(案)の検討を実施	S.T	・排水機場、樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	H28年度から検討	・手取川排水計画(案)の検討に協力	順次実施	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定	H29年度から検討			・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定	H29年度から検討				
		・検討中【H29.3現在】	引き続き検討	・手取川排水計画(案)の検討に協力	順次実施	・検討中【H29.3現在】	H29年度から検討		同上	同上					
②排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	T	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備を行い、情報共有を図る。	引き続き毎年実施	・連絡体制の確認	引き続き実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。	引き続き毎年実施			・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。	引き続き毎年実施				
		・【H28.5.9】水防連絡会の際に連絡体制について確認	引き続き毎年実施	・連絡体制の確認	引き続き実施	・検討中【H29.3現在】	引き続き毎年実施			国交省主催 排水ポンプ車の実動訓練参加【6月14日】	引き続き実施				
③関係機関が連携した排水実働訓練の実施	T	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	H28年度から実施	・排水ポンプ車の実働訓練の参加	引き続き実施	・水防訓練と合同で実施を検討 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加	H28年度から実施			・水防訓練と合同で実施を検討。 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加。	H28年度から実施				
		・【H28.6.14】排水ポンプ車操作訓練を実施	引き続き実施	・排水ポンプ車の実働訓練の参加	引き続き実施	・検討中【H29.3現在】	H28年度から実施			国交省主催 排水ポンプ車の実動訓練参加【6月14日】	引き続き実施				